

みき通信



日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告

第77号 2018年1月31日

発行 **がんばれくぼたみきの会**

連絡先 875-7126 (阿部)

ホントにこれで
いいの？

(給食センター
高齢者福祉)

議会報告会 in 葉桜

突然の大雪と厳しい寒さの中、新しい年のスタートから今年の厳しい世相を示すかのようです。

さて、恒例の「くぼたみき議会報告会」が、1月21日(日)葉桜団地内で行われました。みきさんの報告の後、参加された皆さんから地域の自然環境の問題等、質問や意見が続出し、時間が足りないほどでした。

学校給食については、大きなセンター方式より自校式、親子方式の方が小まわりがきいて柔軟に対応できるなどの意見が出され、町がセンター方式に固執する理由が問われました。

また、高齢者の問題では、地域のボランティア養成に力を入れる一方で、そのボランティアを支える仕組みが不十分で、すでにボランティアの限界が見えているという厳しい現実が改めて指摘されました。

権力者と親しい人間が、通常では考えられない待遇を受け利益を得ても、当事者である首相が他人事のように平然としている国で、社会保障政策は連続して改悪され、まじめに働き支えあっている地域の人々の暮らしが壊されています。

県内でも医療費の支出が低く「元気なお年寄りが多い」という葉山町ですが、いずれ誰にも支援や介護を必要とする日はやってきます。体操の普及で健康を維持する取り組みの他、要支援、要介護時の備えにもっと目を向けた対策が必要でしょう。

国の政策が後退する中で、住民を守るために地方自治体は何を優先し、お金をかけるべきか、が問われています。老いても安心して暮らせる町づくりのために、町はもっと地域の住民の声に耳を傾け、必要な対応をとることが求められています。

「ごみ処理広域化地域計画」 推進に向けた取り組み

町議会議員 **くぼた みき**

「ごみ処理広域化地域計画」とは、人口5万人以上、面積400K㎡以上の地域で構成する市町村においてリサイクル等を推進するための計画策定、目標を設定するものです。

葉山町は非効率とされる単独自治体の廃棄物処理から、効率で持続可能な廃棄物処理システムの構築を目指すため逗子市と広域連携の協議を進めてきました。現在、葉山町の燃やすごみの一部を逗子市の焼却炉で試行処理しており、4月からは燃やすごみの全量を処理し、葉山町では逗子市のし尿等を町浄化センターでの処理します。この様に今後、逗子市との共同処理を実施するための計画策定が行われました。

広域処理を目指すことにより、町焼却炉の廃炉・新規施設整備等に国庫補助金が交付されます。計画には、逗子市では、町の可燃ごみ、容器包装プラスチックの受け入れ、葉山町では逗子市のし尿等、生ごみ、植木剪定枝の受け入れが位置付けられています。そのための葉山町の整備検討処理施設に ●植木剪定枝、プラスチック等のストックヤード ●生ごみ資源化施設 ●市街化調整区域への合併浄化槽整備 が交付金を見込まれるとして挙げられています。

その中で、埼玉県久喜市に平成15年から稼働している生ごみ資源化施設があり、5年前に会派で、1月に委員会視察で行って来ました。この施設は臭気もほとんどなく、大型キエーロと言えわかりやすいでしょうか。定期的にHDM菌を投入、攪拌するだけで、生ごみ90%以上が減容されています。

しかし、処理方法に問題はないとしながらも、生ごみと燃やすごみと分け複数回収するための経費がかさお事や、新しい焼却炉を建設するとの理由により、久喜市の施設は平成35年で終了してしまいます。葉山町では家庭の生ごみ処理にキエーロを推奨しその取り組みは全国に広がっています。逗子市との連携の方法と生ごみの資源化については、久喜市など良く調査し負担が少なく継続できる計画を進めることが重要です。